

98.7.24 朝日新聞(夕)

# 大阪府

## 府立20高校、統廃合へ

### 32000年度から10年間で教職員4800人減

大阪府は二十四日、府立高校の二十校を統廃合し、今後十年間で高校に小・中学校などの教職員も加えた約四千八百人の人員削減を実施する方針を固めた。府立高校百五十六校の約八分の一、教員は公立幼稚園や養護学校も含めた全公立学校の総員の約一割弱に当たる大幅減となる。教育関係

のほか一般行政職員も約二千二百人削減する考えで、人員減は計七千人にのぼる見通し。府は財政危機乗り越切りのため歳出の約四割を占める人件費の圧縮を最優先課題としており、少子化に伴う生徒数の減少を背景に、保護者や地元の見返が予想される学校の統廃合も避けられないと判断した。

府立高校の統廃合は、新入生の募集を停止する形で二〇〇〇年度から三年間で実施する。対象校は未定で、募集計画を公表する来年秋までに詰める。統廃合によって府立高校の一学年の平均学級数は、問題を抱える教育困難校で六、その他で八クラスに減ることになるとい

人員削減は、市町村立の小・中学校の教員も、人件費は国と府で折半しているため対象になる。定年退職などの自然減少による約三千人に加え、府が国の基準を超えて独自の予算で同和地区の学校や教育困難校に配置している「加配教員」、府教委や教育センターなどの教職員、市町村教委への

AA19980048J1

出向者などの削減で千八百人を追加する。うち、統廃合に伴う減少は二百人程度

になる見通しだ。十年計画の予定だが、府はできるだけ早く実施する考えで、初年度だけで千百人を減らすという。大阪府全体の職員数は約九万六千人。うち公立学校の教職員は約六万六千人と六九%を占める。これに対し、今春の府内の公立中学校の卒業生は約八万七千三百人で、最盛期より六万人以上減少しており、二〇〇五年度には約七万七千人と最盛期の半分に落ち込む見通しだ。